



芽室町内で収穫される落花生(昨年9月)

特集・猛暑
新顔作物

温暖化で「新顔」栽培に注目
サツマイモ・落花生の収量増加



JA木野が試験栽培するサツマイモを収穫する関係者(昨年10月)

温暖化傾向が進む中、これまで道内では栽培が難しかった作物に注目が集まっている。道は2022年度から、生産量が近年増えているニンニクやサツマイモ、落花生を「新顔作物」に指定しているが、その中でもサツマイモや落花生は昨年、豊作に恵まれ、十勝が適地となり始めている。

JA木野(音更町)は昨年、サツマイモの試験栽培を実施。0.15畝に苗約3000本を植え、2・3ノを収穫した。鹿児島県の農業関係者が「鹿児島より大きく育っている」と驚くほどだった。

同JAでは温泉熱を利用したビニールハウスで苗を育て、今年は昨年の約10倍の苗を植える予定。同JA青果課は「機械化は進んでいないが、昨年の気候を考えると十勝でも今後、サツマイモの栽培が増えるのでは」と話す。

需要増に取り組み動きも活発化。十勝総合振興局は今年3月11日、十勝産サツマイモスイーツの試食会を帯広市内で初めて開催した。

また、昨年7月に発足した芽室町落花生生産組合(11戸)は昨年、町内約7畝で落花生を作付し、37ノほど収穫した。2017年に生産組織を立ち上げ、落花生栽培に取り組んできた藤井信二組合長は「昨年は落花生に適した気候で、収量は例年の2割増しだった。品質や実入りも最高」と手応えを得ていた。

これまでの栽培では早生(わせ)品種の「郷(さと)の香」を主体としていたが、昨年は「ナカテユタカ」とほぼ半々で栽培した。藤井組合長は「早生品種ではないナカテユタカのほうが収量があった。昨年の天候とうまく合致した」と話している。



人々の食文化を支え、その未来を変える

■ 農機具部門・鈴木鉄工
〒082-0384 河西郡芽室町上美生 4 線 38
TEL : 0155-66-2011 FAX : 0155-66-2121

■ 本部・アグリテック部門
〒080-0040 帯広市西 10 条北 1-8
TEL : 0155-66-6155 FAX : 0155-41-3434

エイコーウェルネス
公式 HP



エイコーグループ
公式 HP



農機具事業

新型 T-2000 今春 納品開始

ウルトラつり吉くんに
大型モデル新登場！

フォークリフトでの
インプラメントの移動に！
大型リフト対応の新モデルでは、
最大 2t までつれるようになりました。
(最大 1t までの通常モデルも T-1000 として販売継続)



アグリテック事業

見積り・下見無料

ドローン散布で
適期を逃さない！

農薬・種子・粒剤の
散布サービスは、十勝の当社に
お任せください！
緊急時も、迅速丁寧に対応します。
センシングサービスも準備中。



【使用ドローン】DJI Agras T30

肥料分配機の下取も受付中！ 修理・メンテナンス・買取のご提案やお見積りなどお気軽にお問い合わせください。